Panasonic

電源制御ユニット

取扱説明書 工事説明付き

品番 WU-L62

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

もくじ

商品概要 …… 2
付属品をご確認ください …… 2
安全上のご注意 …… 2
使用上のお願い …… 4
ラックへの取り付けかた …… 4
電源スイッチについて ……4
接続のしかた …… 5
■AC入力端子の接続 …… 5
●使用できる電線と端子 …… 5
●電源の接続…… 5
●本機を増設する場合 …… 5
●外部制御線の接続 …… 5
■電源制御入力、出力端子の接続 …… 6
■外部制御端子の接続 …… 6
■非常用放送設備の増設用として使用する場合… 7
■ラック形音響装置の増設用として使用する場合…7
仕様 …… 裏表紙
保証とアフターサービス …… 裏表紙

このたびは、電源制御ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、ラックに収納して使用する電源制御ユニットで、AC 100 V 38 Aまでの電源を制御できます。
また、DC 24 V 3.6 Aまでの直流電流を出力できます。

- ラック形音響装置 WL-7100,7600の電源制御ユニットとして使用する場合は、非常用放送設備の制御信号で、非常放送時に音響装置の電源を遮断できます（前面のディップスイッチの設定が必要）。
- 制御端子台にPWR CONT、EMG 24 V制御、DC 24 V出力端子を設け、外部機器からのリモート制御、DC電源供給ができます。
- 出力系統（2系統）の入/切のタイミングに時間差を設け、電源ON時の突入電流の重畳による主幹側ブレーカーの遮断を防止します。

付属品をご確認ください

10ピンケーブル（PWR CONT用 約2.5 m）…… 1本
ラックマウント用タッピングねじ（呼び径5×12）… 4本
束線バンド（大）…… 2個
束線バンド（小）…… 1個
円端子 …… 5個
取扱説明書（本書）…… 1冊
保証書 …… 1式

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、
次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

異物を入れない

禁　止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

●修理や点検は販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

●ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

決められたヒューズを使う

規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。

ケーブルを傷つけない

禁　止

重いものをのせたり、はさんだりするとケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

●修理や点検は販売店にご連絡ください。

取付ねじはしっかりとしめる

落下などで、けがの原因となります。

●必ず販売店に依頼してください。

機器の上に水などの入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

●ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

⚠注意

通風孔をふさがない

禁　止

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

禁　止

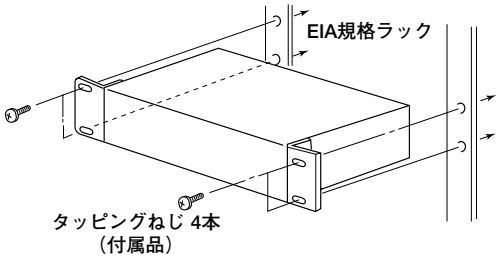
火災や感電の原因となります。

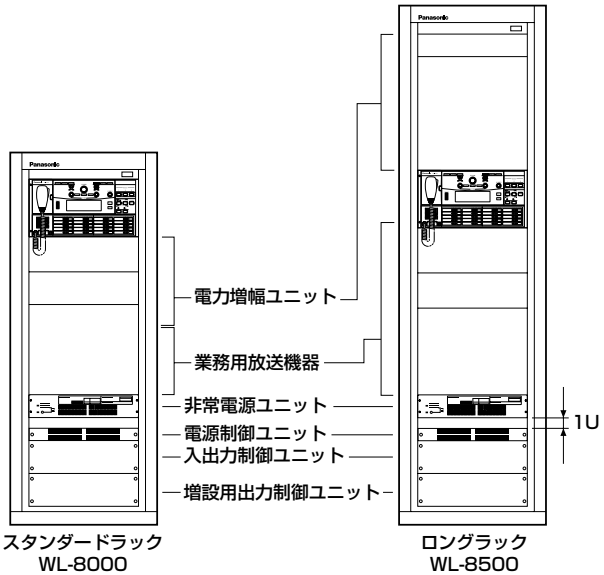
使用上のお願い

- 本機はラックマウント専用です。ご使用の際は、必ずEIA規格相当のラック(奥行き450 mm以上)に取り付けてください。
- 定格出力AC 100V 38 A（コンセント1個あたり15 A）を超える機器を接続しないでください。
- ラック内の温度が+45 ℃以上にならないようにしてください。
- 本機は、できるだけラック下側に取り付けてください。
- ミキサーユニット、入力マトリクスユニット（別売品）は、上または下を1U以上空けて取り付けてください。
- お手入れのしかた
  電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤をやわらかい布に染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。
  ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

ラックへの取り付けかた

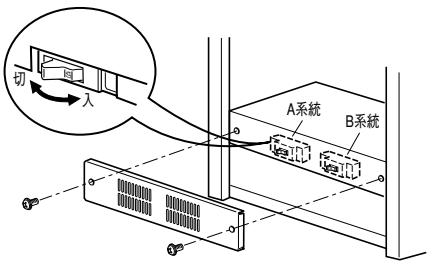
- 必ずEIA規格相当のラックに取り付けてください。
- 非常用放送設備WL-8000/8500、WP-8000/8500、ラック形音響装置WL-7100、7600、ラック WU-RS80/RL85に取り付ける場合は、付属のタッピングねじ（呼び径5×12）4本で取り付けてください。
  ねじの締付トルク：2 N·m～2.4 N·m
  {20.5 kgf·cm～24.5 kgf·cm}
- 放熱効果を上げるため、本機の上は、サービスユニットを置くか、1U以上空けて取り付けてください。
- 本機を使用するシステムで、DC 24 V電源を使用しない場合は、外部制御端子のジャンパー金具をはずしてください。ジャンパー金具をはずすと2台まで積み重ねて取り付けできます。
- 電力増幅ユニット（発熱する機器）は、1U以上空けて、本機の上に取り付けてください。
- ミキサーユニット、入力マトリクスユニットおよび業務用放送機器（別売品）は、本機と上または下を1U以上空けて取り付けてください。





電源スイッチについて

- 接続が全て終わりましたら、ブレーカーを「入」にしてください。
- AC入力のA系統、B系統はそれぞれのブレーカーが遮断装置となります。



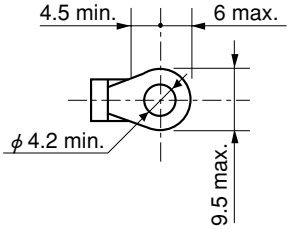
接続のしかた

■AC入力端子の接続

お願い
- AC電源の接続は、電気工事士の資格が必要です。
- 工事中は、配電盤スイッチ・ブレーカーは「切」にしてください。

●使用できる電線と端子

- 電線は、{より線の場合： 2.0 mm² 以上 / 単線の場合： 直径 1.6 mm以上} で、電流容量の十分とれるものを使用してください。
- 配線する時は、付属の円端子または、適合する円端子（右図）をご使用ください。
- 2.63～6.64 mm² のより線を使用する場合は、付属の円端子をご使用ください。



⚠警告

AC電源を接続する際は、指定の線材と方法で確実に接続してください。

●電源の接続

①配電盤スイッチ・ブレーカーを「切」にする。
②2本のねじをゆるめ、前面パネルをはずす。
③ブレーカーを「切」にする（出荷時は「切」です）。
④配電盤から本機へ電源を接続する。

お願い
- 使用できる電源（配電盤）は、20 Aまたは30 Aです。
- 系統ごと（A,B）に主電源（配電盤）からの配線を分けて、直接接続してください。
- 内線規程により、30 Aを超える電源（配電盤）へは、接続できません。
- 円端子および電線が本機から飛び出ないように接続してください。

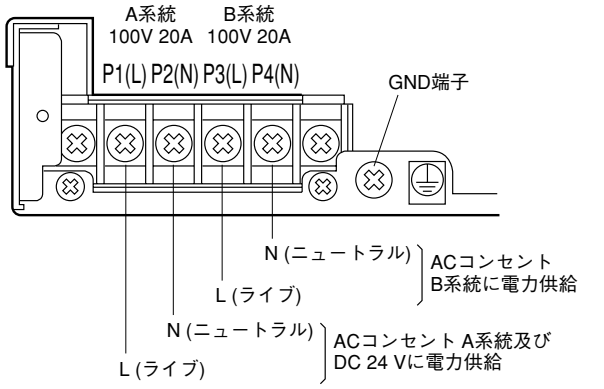
⑤取り付けたケーブルを、付属の束線バンド（大）で止める（ケーブル接続部に直接力が加わるのを防ぐため）。
⑥右端にあるGND端子を大地にアースする（D種接地工事）。
⑦接続完了後、配線に間違いがないか確認する。確認後、配電盤スイッチ・ブレーカーを「入」にする。
⑧前面パネルを元どおりにねじ止めする。

●本機を増設する場合

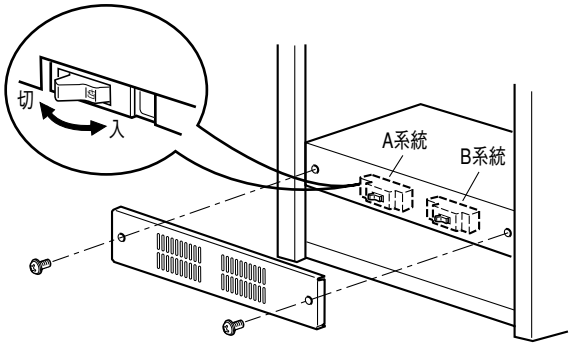
- 増設時に、AC 100 Vの合計電流が38 Aを超える場合、AC配線は別系統の配線になるようにしてください。

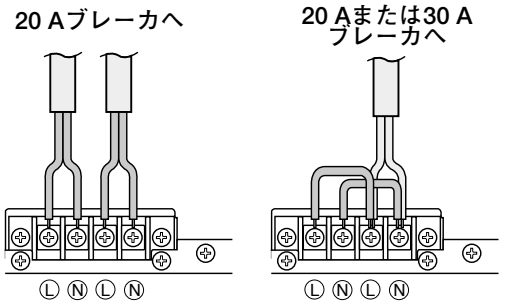
●外部制御線の接続

- 外部制御線は、ブレーカー下側を通線し、端子台に接続します。ケーブルは、付属の束線バンド（小）で止めます。



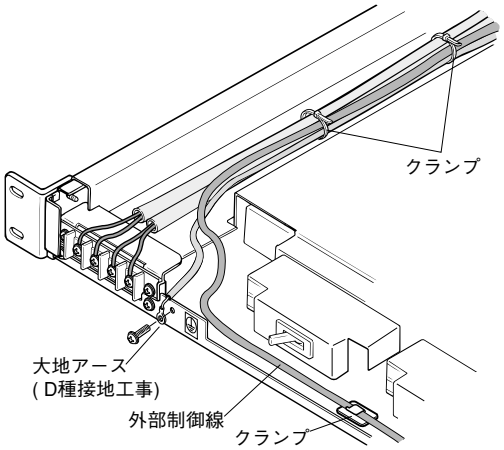
- 電源線を端子台に接続する際のねじ締付トルク
  1.2 N·m～1.4 N·m {12.2 kgf·cm～14.3 kgf·cm}





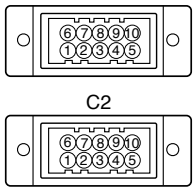
配電盤からの配線を20 Aで分ける

配線を共用しているため合計で30 Aをこえるものは不可

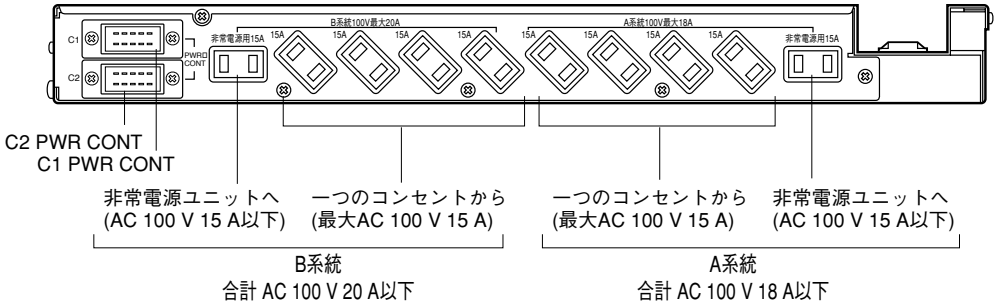


接続のしかた

■電源制御入出力端子[C1 PWR CONT][C2 PWR CONT]の接続



① ＋24 V　：DC 24 V出力
② BACK UP　：中継
③ GND　：アース端子：電源制御コモン端子
④ 内部EMG メイク　：GNDとメイクすることでDC 24 V出力と、ACコンセントのAC 100 Vをカットする。入力電流 約0.5 mA（ディップスイッチ(SW11)の2,3をONに設定する必要があります）
⑤ 内部PWR CONT　：電源制御端子 GNDとメイクすると、ACコンセントにAC 100 Vが出力されます。
⑥ 常用電源　：常用 DC 24 V出力（非常用放送設備の“主電源”表示用）
⑦ CPU OFF　：中継
⑧ URG　：中継
⑨ BATT CHK　：中継
⑩ BATT STATUS：中継



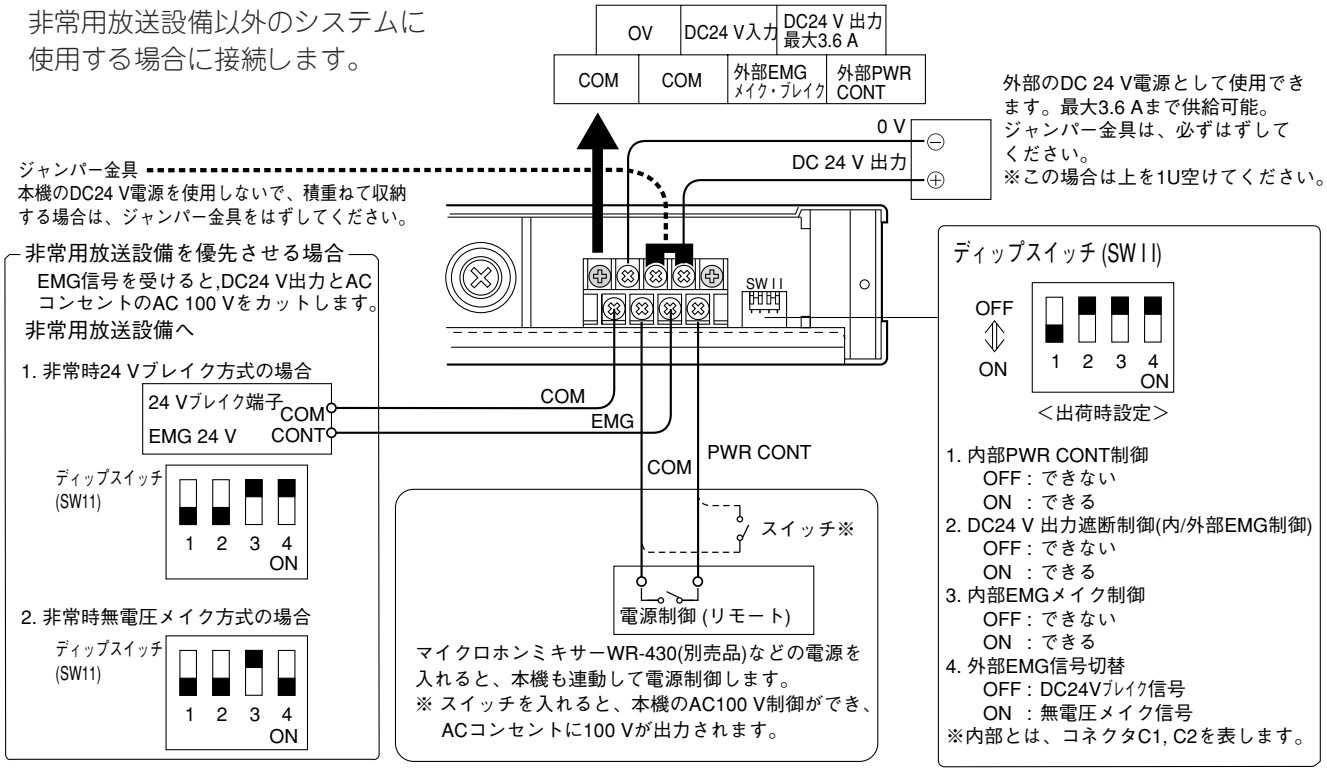
※10Pケーブルは、本機に１本付属しています。(ケーブル長：約2.5 m、10芯ケーブル)

メ　モ

- 突入電流の重畳を軽減するため、突入電流の大きな電力増幅ユニットを複数接続する場合は、A系統、B系統に分けて接続してください。
- 非常電源ユニットの電源コードと、非常電源ユニットからDC電源コードを接続している電力増幅ユニットの電源コードの接続は、系統を合わせてください。

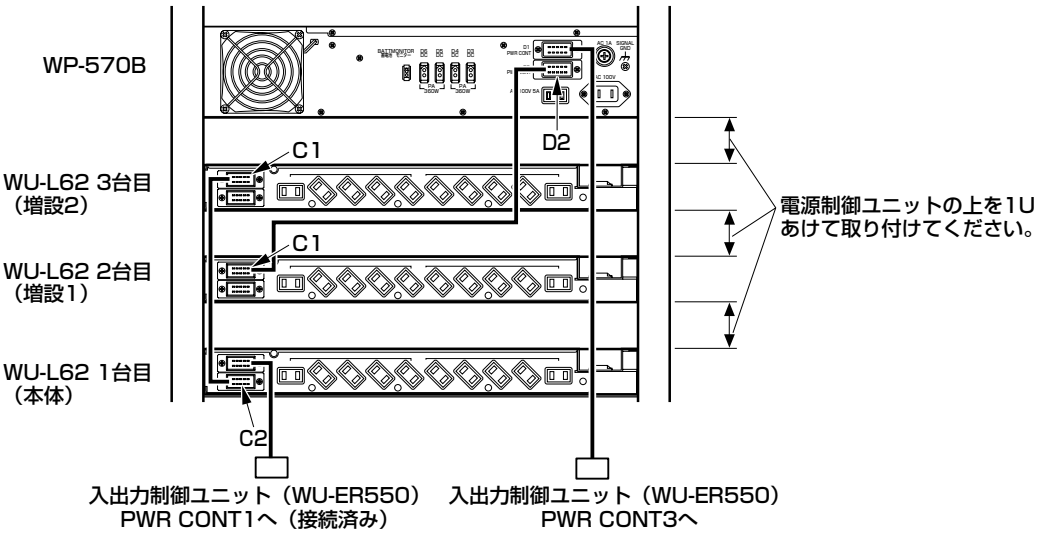
■外部制御端子の接続

非常用放送設備以外のシステムに使用する場合に接続します。



■非常用放送設備の増設用として使用する場合

●増設 1 台目の電源制御ユニットのC1 PWR CONTを、非常電源ユニットのD2 PWR CONTに接続します。
増設 2 台目のC1 PWR CONTは、本体の電源制御ユニットのC2 PWR CONTに接続します。



メ　モ

●ラック形非常用放送設備（WL-8000/8500）の工事説明書 設置工事編を合わせてお読みください。

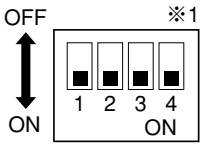
■ラック形音響装置の増設用として使用する場合

●電力増幅ユニット（別売品）などを追加し、
AC 100 Vの消費電流が最大38 Aを超える場合には、本機を増設してください。PWR CONTを下図のように、接続します。

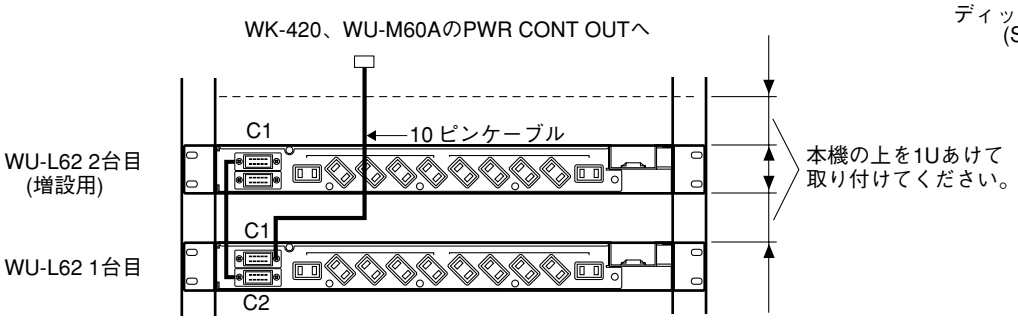
端子名		接続先		
表示	内容	品番	表示	内容
C1	PWR CONT IN	WU-M60A WK-420	M3 S8	PWR CONT OUT PWR CONT

●C2 PWR CONT OUT端子は、増設時に使用します。

●ディップスイッチ（SW11）の1,2,3,4を ON に設定してください。
※1 ディップスイッチ（SW11）の4をOFF（DC 24 Vブレイク信号側）にしてしまうと、DC24 V出力遮断となり、動作しなくなります。



ディップスイッチ
(SW11)



メ　モ

●旧ラック形非常用放送設備（WL-7050A/7550A）やラック形音響装置（WL-7100/7600）を、2006年11月生産までのWU-L62やWP-570Bと接続する場合には、変換ケーブルが必要です。 別途お買い求めください。

PWR CONT変換ケーブル（補修部品扱い）

10Pオス―9Pメス	K1PY10Y00020	10Pメス―9Pメス	K1PY10Y00022
10Pオス―9Pオス	K1PY10Y00021	10Pメス―9Pオス	K1PY10Y00023

仕　様

電源	AC 100 V　50 Hz／60 Hz
消費電力(注)	約140 W（DC 3.6 A出力時）
AC電源出力	AC 100 V 最大38 A （A系統18 AとB系統20 Aの2系統）
DC電源出力	DC 24 V 最大3.6 A
非常用電源コンセント	×2　最大15 A
AC電源コンセント	×4　2系統 (計8) 1個当たり15 A　最大38 A
内部PWR CONT端子	10ピンコネクター×2
外部制御(前面端子台)	PWR CONT、 EMG24 Vメイク / ブレイク切替 DC 24 V出力、COM、0 V
外部PWR CONT制御	トランジスタ入力　耐電圧 DC 30 V　入力電流 約　1 mA
外部EMGメイク制御	トランジスタ入力　耐電圧 DC 30 V　入力電流 約0.5 mA
外部EMGブレイク制御	トランジスタ入力　耐電圧 DC 30 V　入力電流 約　3 mA
電源リレー動作時間	ON時　：A系統 約 40 ms B系統 約 80 ms OFF時：A系統 約 40 ms B系統 約 130 ms
寸法	480（幅）×44（高さ）×300（奥行き）mm （つまみなどの突起部含まず）、1U
質量	約6.4 kg
仕上げ	パネル／AVライトグレー塗装 （マンセルN8近似色（日塗工CN-80近似色））

(注)この表示は、電気用品安全法の技術基準に基づくものです。

保証とアフターサービス　（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■修理を依頼されるとき
お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、電源制御ユニットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品　番	WU-L62
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック エンターテインメント＆コミュニケーション株式会社
〒812-8531　福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号　　電話 フリーダイヤル 0120-878-410

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024

A8QB5122NN
Ncg0702-2054
Printed in China